

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 2014年度 シリア難民支援募金による活動報告書

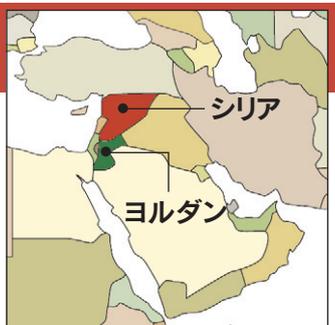
募金実績件数: 2,957件 募金額: 18,885,648円 期間: 2013年10月1日～2014年9月30日

皆さまからいただきました「シリア難民支援募金」により、内戦の被害を避けるために隣国ヨルダンに逃れた子どもたちへの支援を行っています。現地行政機関との協力関係が整い、支援はこれから本格化するところで、経過報告となりますが、ご支援で子どもたちの教育環境の改善が可能となりましたことを感謝いたします。



支援を行う学校の子どもたちと現地駐在の国吉スタッフ

シリア



支援地域の状況

2011年3月のシリア南部ダラア市の民衆蜂起を発端として始まったアサド政権と反体制派との武力抗争は、その後シリア紛争へと発展し、3年以上を経た現在も未だ終結の目処が立っていません。シリア国内では、これまで19万人を超える死者が出ており、多くの一般市民が犠牲になっています。終結の糸口の見えないこのシリア紛争は21世紀最大の人道危機と言われています。

ヨルダンはシリアと国境を接しており、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) によれば、ヨルダンに避難した60万人以上のシリア難民が、支援を必要としているとされています。受け入れ地域は急激な人口増加のため、物価の上昇や就職難など問題が紛糾し、両国人の間で緊張は高まっています。



適切な事業を行うための補習教員への研修

シリア難民で就学年齢にある子どもたちは2014年1月時点で20万人を超え、そのうち9万人以上が学校へ通っていません。難民の中には、難民キャンプ以外で暮らす人々も多くいます。その子どもたちはヨルダンの学校へ通うこととなりますが、難民の急激な増加により、両国のすべての子どもたちが授業を受けることはできません。またシリアの子どもたちは、学習カリキュラムの違い、偏見や差別、シリアで見た残酷な情景の記憶などにより、心理的に深刻な影響を受けています。シリア人の子どもたちが通学途中に暴力被害にあうケースもあり、安心して通学できる環境が早急に必要です。

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

支援を行う学校へ視察に行くと、多くの保護者が子どもたちを連れて、学校に登録しに来ていました。しかし学校側は、すでに1教室に50名ほどの子どもたちを受け入れており、新しい子どもたちを受け入れる余裕がない、と困っていました。また、教科書は提供されるものの、文房具や学用品は各自で揃えるしかなく、それすら難しい子どもも多くいます。さらに、

生徒数の急激な増加のため、ほとんどの公立小学校では授業を午前、午後の二部制にしており、通常より短い授業時間で授業を行っています。

このような状況の中で、シリア人、ヨルダン人の子どもたちも、友だちと安心して遊べる場所がない、授業についていけない、学校へ通う道が安全ではないなど、深刻な影響を受けている

ことから、皆さまからの募金とジャパン・プラットフォーム[※]からの助成により、子ども達への教育支援を行っています。私たちは、限られた時間で効果的に支援を行うため、対象を学校へ通っている子どもたちとし、子どもたちが学校に安心して通い続けられるように、補習授業を行うことで学習環境の改善に貢献します。

ヨルダンで事業を行うためには、現地行政から許可を得る必要があります。事業開始から時間をかけて関係構築を行いました。関係省庁である教育省とも積極的に話し合い、実際に現場へ視察に行ったり、補習授業を行う方法などについて協力関係を築いています。現地行政からの承認に予想以上に時間を要したため、計画より遅れての開始となりましたが、現在、補習授業のための机や棚、バッグや筆箱などの納入を終えました。

このような緊急事態では、例えば、トラウマを抱えた子どもたち、情緒不安定な子どもたち、ヨルダン人とシリア人という学習カリキュラムの違う子どもたちへの対応など、通常の教育法では見られない課題が多くあります。この状況を十分に理解し、適切な授業を行えるように、補習授業教員への研修を行っています。また、学校で補習授業を行う際に、教室に余裕がないことから、講堂や多目的ホールを学校から借り受け、

パーティションで教室を作り、電灯や壁がはがれている部分を修繕するなど、子どもたちが楽しく勉強できる空間を作るために、改修作業を行っています。



支援対象地域の授業の様子。シリアとヨルダンの子どもたちが楽しく学習できるように支援を行います

※ジャパン・プラットフォーム：NGO、経済界、政府の対等なパートナーシップのもと、自然災害、紛争などにより発生する人道危機に対して迅速かつ効果的な支援を行う団体です。

教育省、学校教育部門担当、アブダラ・ハキム氏のコメント

「まず、このような補習授業の機会を与えてくださった、日本の皆さまに感謝します。私たちは、国籍に関係なく、ヨルダン国内で暮らすどのような子どもも、就学年齢に達したならば学校での勉強や友だちとの遊びを通して、学びを深めていくべき

と考え、校舎の増築、教員の増員を行い、少しでも多くの子どもたちが学校に通えるように奮闘しています。そんな中、ワールド・ビジョン・ジャパンの行う補習授業は、現在の困難な状況において、子どもたちを支える、非常に大きな助けとなります」



アブダラ・ハキム氏

今後の予定

補習授業の提供のみにとどまらず、子どもたちが安心して学校へ通い続けることができるように、大人が引率する集団登校グループと、遠方からくる生徒や障がいを持つ生徒のバス通学グループに分けます。補習授業時間には、レクリエーション活動を行う時間を取り、お絵かきやダンス、簡単なゲームを通して、子どもたちが安心して自分の気持ちを表現し、遊べる空間を提供します。

担当：國吉スタッフより

支援予定の学校へ行くと、子どもたちが笑顔で近寄ってきてくれます。その姿にほっとすると同時に、始終緊張している子どもや、暗い顔をしている子どももおり、たくさん子どもたちが悩みや苦しみを抱えていることに気づきます。私には想像もつかない世界を生き延びてきたのだと思うと、心が裂ける思いがします。皆さまの温かい想いのつまったご支援に、改めて感謝いたします。今後も、シリア、ヨルダンの子どものために、ご協力をお願いします。

●募金についての問い合わせは 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F
電話：03-5334-5351 FAX：03-5334-5359
Eメール：dservice@worldvision.or.jp <http://www.worldvision.jp>

ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシー（政府や市民への働きかけ）を行う国際NGOです